

● RASとは

・RASとは、コンピュータシステムが期待された機能・性能を安定して発揮できるか否かを検証するための評価項目として知られる3つの要素の頭文字をつなぎ合わせた用語です。

「R」は“Reliability”（信頼性）の略です。故障や障害などによるシステムの停止や機能不全の発生しにくさを表します。稼働時間当たりの障害発生回数(MTBF: Mean Time Between Failures)などの指標です。

「A」は“Availability”（可用性）の略です。稼働率の高さ、障害や保守による停止時間の短さを表します。稼働が期待される時間に対する実際の稼働時間の割合(稼働率)などの指標です。

「S」は“Serviceability”（保守性）の略です。障害復旧やメンテナンスのしやすさを表します。障害発生から復旧までの平均時間(MTTR: Mean Time To Repair)などの指標です。

アルゴシステムの産業用PCでは、下記の機能を有しています

信頼性、可用性、保守性 (Reliability Availability and Serviceability) の為の機能

温度監視

CPUコア温度、本体内部温度を監視します。
高温閾値と判定周期を設定し閾値を超えた場合の動作が選択できます。

- シャットダウン
- 再起動
- ポップアップ通知
- イベント通知

S.M.A.R.T.

S.M.A.R.T.とはSSDの情報を読み取り、寿命予測を行う機能です。

- 電源投入回数
- 健康状態 (3段階)
- ECCエラー回数
- 平均消去回数
- 最大消去回数
- 正常ブロック数

ウォッチドッグタイマ機能

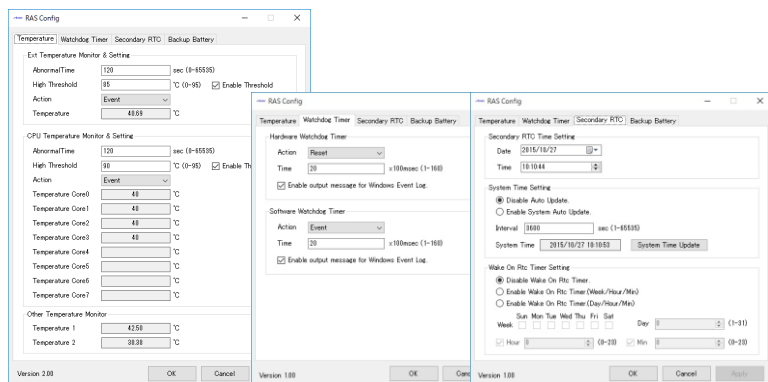
ウォッチドッグタイマとは一定周期でOSやアプリが正常動作していることを確認する機能です。
ハードウェアタイプとソフトウェアタイプがあります。
異常時の動作が選択できます。

- シャットダウン
- 再起動
- ポップアップ通知
- イベント通知

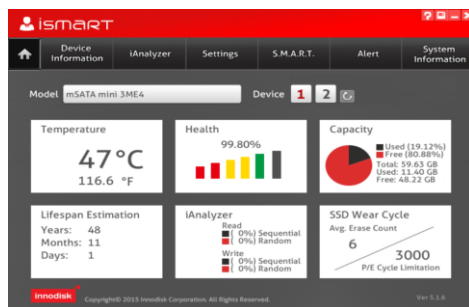
ハードウェアタイプは以下の動作も可能です。

- 電源オフ
- リセット

● RAS Config Tool設定画面



● S.M.A.R.T. Monitor Tool設定画面



※詳細については、マニュアルをご参照ください。

● 対象製品

7A IoTシリーズ	AP7A・EC7A
4A IoTシリーズ	AP4A・APS4A・EC4A・AS4A
4B IoTシリーズ	AP4B・APS4B・EC4B
4A UPSシリーズ	AP4A・APS4A・APL4A・EC4A・AS4A
1A IoTシリーズ (S.M.A.R.T.機能なし)	APS1A・EC1A・AS1A
1G IoTシリーズ (S.M.A.R.T.機能なし)	APS1G・EC1G

このカタログに記載された製品は、予告なしに仕様・機能・デザイン等を変更する場合がありますので、ご採用の際には最新の情報を弊社及び弊社製品取扱販売店までお問い合わせください。

2022年1月版